

2013 年度事業報告

I 事業概要

II 事業実績

1. 情報提供事業

- ①情報交流誌「おうみネット」 ②未来ファンドおうみニューズレター
- ③インターネットの活用 ④メールマガジン「おうみネット e マガジン」の配信

2. 市民活動促進基盤強化事業

(1) 組織基盤強化事業

- ①相談業務 ②市民活動フラットルーム ③NPO 講座 ④税理士個別相談
- ⑤NPO 法人決算初歩講座 ⑥NPO サポート業務 ⑦市民事業化相談
- ⑧NPO 支援センター連携 ⑨市民活動支援関係県域団体連絡調整会議

(2) 市民活動支援事業

- ①協働サロン ②ファンドレイジングセミナー ③JFC 共催事業
- ④市町運営支援事業

3. 人材育成事業

(1) おうみ未来塾

- グループ活動 ●成果報告会等 ●13 期生募集

(2) おうみ未来塾運営委員会

(3) 地域人材発掘育成調査事業

- 地域人材アンケート調査 ●地域プロデューサーの集い
- 地域人材育成プログラム関係者会議 ●地域人材フォーラム

4. 未来ファンドおうみ事業

- (1) 寄付金の受領
- (2) 2013 年度助成事業
- (3) 2014 年度助成事業
- (4) 未来ファンドおうみ運営委員会

5. 会議、活動

- (1) 理事会、評議員会等開催状況
- (2) 主な活動記録

I 事業概要

当財団は設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、2011年4月には公益財団法人に移行し、これまで以上に、ガバナンスや透明性の向上を目指した組織の運営とともに市民活動団体を総合的に支援する組織として「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」、「未来ファンドおうみ」の5本の事業について、的確なる時代認識を持ち、組織目標を定めながら事業展開を図ってきた。

当財団は公益財団法人として、はや3年が経過したがこれまで以上に公益性の高い事業を行う団体として、協働による地域づくりに努めてきたところである。

平成25年度も地域や社会の課題解決に自主的に取り組むNPO（民間非営利組織）・市民活動団体の支援さらには、NPO、自治体、企業、教育機関など、さまざまな組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動を行ってきたところである。

NPOを取り巻く近年の環境変化としては「NPO法の改正」と「新寄付税制」の成立が上げられる。「NPO法の改正」は、NPOの存在感（プレゼンス）の高まりを背景としながら財政基盤強化につながる措置等を中心とした大幅な改正が行われたところであり、NPO法人が市民の身近な存在として応えていくことが期待されたことである。このことは、基盤強化や情報公開が求められるなど、今以上にNPO側も努力していくことが求められている。

「新寄付税制」は多様化する社会ニーズを、人々の「支え合い」や地域の「絆」により充足していくという観点から、個人が寄付する場合、国税と地方税あわせて寄付金額の最大50%が税額控除されることを内容とするものである。お互いさまが地域を支えるという「未来ファンドおうみ」を展開する当財団にとっても、その役割はますます大きいものとなったと考える。

具体的な取組としては、公益財団法人のメリット最大限を生かし、地域への想いを寄付として受け入れ、市民活動を支援する「未来ファンドおうみ」の新たな展開、NPOと企業など多様な組織との連携を図る「ネットワークの促進」、地域プロデューサーの育成を目指す「おうみ未来塾」12期生卒塾を迎え、1期生から12期生まで290名の卒塾生を送り出してきた。また、県委託事業である「地域人材発掘育成委託事業」にも取り組み、滋賀の地域をリードする人材プログラムについて調査検討やフォーラムを開催した。その成果を今後の未来塾の運営に活かしていきたい。また、ファンド事業の円滑な展開が可能となる税額控除という寄付者のメリットを最大限活かせる税額控除団体のメリットを最大限生かした取組みを行った。

II 事業実績

1. 情報提供事業

①情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。

A4 サイズ8頁、4回発行（7月、10月、12月、3月）。

●No. 86

特集「『アート』でつくるまちづくり～まちの魅力を見つめ直す～」

●No. 87

特集「自分も楽しむボランティア～人・地域・社会とのつながりの第一歩～」

●No. 88

特集「自分達の住む地域の“困りごと”は、自分達で解決する」

●No. 89

特集「子どもに寄り添い・生きる力を育てる

～不登校・発達障がい等への支援を通して～」

②未来ファンドおうみニュースレター

市民の想いを込めた寄付を市民活動への助成につなぎ、おたがいさまで支え合う、未来ファンドおうみから、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例など寄付文化を育むことを目的に発行している。

A4 サイズ2頁、4回発行（7月、10月、12月、3月）。

●No. 7 ファンドレイジングの小箱 甲賀市信楽町長野地区

「お祝い返しの一部を寄付し 地域へ恩返し」

●No. 8 ファンドレイジングの小箱 立命館生活協同組合

「当たり前『細く長く』続けたい震災支援メニュー」

●No. 9 ファンドレイジングの小箱 高島市共同募金委員会

「地・財・地・消～たかしまの浄財寄付をたかしまのために役立てる～」

●No. 10 未来ファンドおうみ応援団 株式会社関西アーバン銀行

「『良き企業市民』として」

おうみネット、ニュースレターともに、発行部数：1万部/回

配布先：市民活動団体、個人、公共施設、他府県など2,070カ所

※4回の発送作業には、発送ボランティア延べ23名が参加

③ インターネットの活用

センターのホームページ・ブログを通じて、センターの事業や市民活動団体の情報発信を行った。

- ・ホームページ：アクセス件数 46,839 件/年
- ・ブログ：アクセス件数 36,218 件/年
- ・facebook の活用：講座、フォーラム等開催時にはイベントページを作成し、facebook 活用者への広報を強化

④ メールマガジン「おうみネットe〜マガジン」の配信

無料メルマガリストを利用して、市民活動団体に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

- ・登録件数 993 件（2014年3月31日現在）
- ・配信回数 37回/年（第340号〜376号）

2. 市民活動促進基盤強化事業

(1) 組織基盤強化事業

①相談業務の実施

県民や団体の様々な相談（会計・税務・労務・設立等）に応じる窓口を運営した。

- ・相談実績：来室・訪問 134 件/年 電話・メール 113 件/年
- ・相談内訳：「活動の取組方法」25%、「団体や人の紹介」19%、「NPO法関係」「会計・税務・労務相談」17%、「資金の確保」12%、「センターの活動内容」および「その他」5%

②市民活動ふらっとルームの運営

ワーキングコーナーおよび情報コーナーを一体化して「市民活動ふらっとルーム」とし、人と情報の交流促進を図った。

ワーキングコーナーの運営としては、会報やチラシづくり等に必要な、印刷機、紙折り機、コピー機等を提供した。

- ・ワーキングコーナー利用実績 503 件/年（728 人）
- ・情報ボックス利用団体 59 団体（2014年3月31日現在）
- ・図書コーナー利用者数 1,100 人/年

③ NPO 講座

- 「NPO 法人設立」や「団体の組織運営」等をテーマに NPO ミニ講座を開催した。

毎月 1 回（第 2 金曜日）設定 開催 4 回/年 参加者計 15 名

- 「NPO 会計の初歩」をテーマに会計はじめの一步講座を開催した。

毎月 1 回（第 2 金曜日）設定 開催 5 回/年 参加者計 24 名

- 「活動計算書」をテーマに活動計算書ミニ講座を開催した。

毎月 1 回（第 3 金曜日）設定 開催 6 回/年 参加者計 18 名

④ 税理士個別相談

2013 年 11 月から月 1 回、1 団体 1 時間程度とし、当センター顧問税理士による個別相談日を設け実施。専門家への相談ニーズを把握するために、事前に相談のあった団体に紹介。相談内容の多くは、記帳方法の確認と、税金労務関係が多かった。

開催日：11 月 8 日、12 月 13 日、1 月 22 日、2 月 14 日、3 月 19 日

支援団体数：延べ 8 団体

⑤ NPO 法人決算初歩講座

NPO 法人に義務付けられている事業報告書、決算書類の作成には、専門的な知識も必要とされているが、担当者は必ずしも会計の知識があるとは限らない。当講座を開催することで、NPO 活動の基盤面である会計が充実することを目的とし、滋賀県県民活動生活課と共催で実施。

開催日・会場・参加者人数：

【大津会場】2014 年 2 月 5 日（水）、滋賀県庁東館 7 階大会議室、41 名

【米原会場】2014 年 2 月 6 日（木）、米原公民館研修室 2A B、36 名

参加者内訳：

【年齢】両日とも 50 代、60 代が約半分。

【会計経験年数】両日とも 2 年未満が約半分。

アンケート：

講座名を「決算初歩講座」としたが、一部経験豊富な方も参加しており、今後レベルを上げた講座開催を希望。その他は、分かりやすかったという意見が多数。会計ソフト使用者

の聞いたところ、両日とも約 10 名と予想以上に多かった。事業報告書、決算書作成では、初めてだが周りに相談できる相手もいないという参加者が多かった。



⑥ NPO サポート業務

市民活動団体の組織基盤の強化のため、職員等が訪問面談してサポートを行った。

- ・サポート団体数：8 団体・面談回数：延べ 25 回
- ・内容

おうみNPO活動基金 2013 採択団体 (2 団体)

- ・特定非営利活動法人近江八幡市手をつなぐ育成会 (1 回)
- ・特定非営利活動法人マイママ・セラピー (2 回)

びわこ市民活動応援基金 2013 採択団体 (2 団体)

- ・特定非営利活動法人びわ湖トラスト (3 回)
- ・どろんこの会 (2 回)

びわ湖の日基金 2013 採択団体 (2 団体)

- ・鴨と蛍の里づくりグループ (2 回)
- ・南滋賀の里山を守る会 (3 回)

積水化成成品基金 2013 採択団体 (1 団体)

- ・特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会 (3 回)

おうみチャレンジ基金 2013 採択団体 (1 団体)

- ・特定非営利活動法人おうみ犯罪被害者支援センター (9 回)

⑦ 市民事業相談の実施

事業の収益力強化を模索する団体の相談に応じた。

- ・サポート団体数：9 団体
- ・面談回数：延べ 14 回

⑧ NPO 支援センター連携事業

淡海ネットワークセンターと県内に設立されている地域支援センター等のスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換を行う意見交換会を 4 回開催した。

【開催日】6 月 5 日、8 月 28 日、11 月 6 日、3 月 25 日

⑨ 市民活動支援関係県域団体連絡調整会議

県域の市民活動支援組織が事業の連携を目的に情報交換を行った。

【開催日】2013 年 7 月 9 日 (火)

【内容】各団体の年間事業スケジュールを発表する合同記者会見と意見交換会議を実施。合同記者会見には 4 団体が参加した。

(2) 市民活動支援事業

① 協働サロンの開催

●第1回 地域課題をNPOらしいビジネスで解決するには！事業計画の事例から組み立て方を学ぼう

開催日：2013年6月13日（木）

会場：県民交流センター206会議室（大津市）

参加者：22名

講師：久野 暢さん（日本政策金融公庫）

内容：日本政策金融公庫の融資課長である久野さんに、事業計画書の書き方のワークショップを通してNPOの思いを形にして継続させる事業の組み立て方について学んだ。参加者は、これからNPO活動をはじめの方、すでにはじめておられる方等様々。

共有の時間では、久野さんに具体的な運営についての質問等活発な質疑応答となった。また、政策金融公庫のNPOへの融資のことについても知る機会となった。

●第2回 遺贈寄付の受け入れについて考える学習会

開催日：2013年8月9日（金）

会場：県民交流センター 206 会議室

後援：滋賀弁護士会、滋賀県司法書士会、滋賀県行政書士会、全国不動産協会滋賀支部

参加者数：15名

講師：早坂 毅さん（税理士）

内容：全国の遺贈寄付の事例に詳しい税理士の早坂さんを招き遺贈寄付の位置づけや、早坂さんがされた実際の遺贈寄付の事例をもとに、意見交換をして遺贈寄付の受け入れ体制について考えた。今回は、実際の遺贈寄付の受付窓口になるであろう、弁護士や司法書士、行政書士など専門家の方の出席が多く、NPOと専門家の深い意見交換ができた。

●第3回 地域でささえあいの仕組みをつくるには～移動支援・生活支援を考える交流会～

開催日：2013年9月21日（木）

会場：滋賀県立 長寿社会福祉センター 介護研修室

参加者数：32名（27団体）

主催：淡海ネットワークセンター、滋賀県社会福祉協議会

協力：移送サービス支援センター

内容：滋賀県内の生活支援の現状について（滋賀県社会福祉協議会 谷口郁美さん）および滋賀県内の移動支援を行うNPOの課題について（淡海ネットワークセンター）話題提供を行い 現状について認識を深めた。その後、移動支援・生活支援の活動における課題、工夫について共有する交流会を開催した。参加者は工夫などを情報共有することで、今後の運営に気づきを得た。



●第4回 これからのNPO活動を考える懇談会の開催

開催日：2013年10月23日（水）

会場：淡海ネットワークセンターふらっとルーム

参加者数：NPO関係者6名・滋賀県担当課等6名

（特活）マイママセラピー 押栗泰代

（特活）マイペースプロジェクト 小悌泰明

（特活）あさがお 尾崎史

（特活）しみん福祉しが 成瀬和子

戸田由美 日本FR協会認定ファンドレイザー(高島市在住)

相井義博 草津市職員（草津市立まちづくりセンター出向）

内容：現在 NPO の話題になっている事柄について、活動現場で直接事業に携わっている方々の声を聞き、県下の NPO の現状と課題について考えた。県から総合政策部長をはじめ 6 名の参加を得て実施。



●第 5 回 多様な人々の人権を守り共助社会をつくる NPO のネットワークを考える

開催日：2014 年 1 月 12 日（土）

会場：草津まちづくりセンター309 会議室

参加者数：13 名

後援：公益財団法人滋賀県人権教育研究会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、公益財団法人滋賀県国際協会、滋賀県立男女共同参画センター、公益社団法人滋賀県人権センター

内容：女性差別や児童虐待など人々の権利侵害に関する問題に、県内で権利擁護の観点から支援活動に取り組まれている団体が集まり、これからの共助社会をつくるため、お互いの分野を活かしたネットワークのきっかけの場とした。

②ファンドレイジングセミナー「NPO のための志金を考える」

開催日：2014 年 2 月 15 日（土）

場所：県民交流センター207 会議室

参加者：66 名

【研修 1】講師：脇坂誠也さん（税理士、日本 FR 協会認定講師）

『寄付者に向けて寄付税制を語る』そのために必要なこと」

【研修 2】山元圭太さん（かものはしプロジェクト、日本 FR 協会認定講師）

「ファンドレイジングの戦略の立て方（入門編）」

このセミナーは、日本ファンドレイジング協会の協力を得て、同協会が主宰する「認定ファンドレイザー資格検定のための研修」同等のセミナーとして開催された。つまり、このセミナー参加者には、認定ファンドレイザー資格検定受験に必要な受講ポイントが付与される。昨年の NPO 法改正に伴う認定 NPO 法人取得への関心

が高まり、ファンレイジングなど、寄付に関して積極的な展開をめざす人々が、関東や九州からも参加された。参加者も共同募金に関わる人、認定NPO法人をめざす団体の社員、学生、企業、財団など多様な方々が集まり、募集開始直後定員に達した。また、当日昼食時には参加者がパネル展示を用いて自身の活動を紹介する場も設けた。参加者は、学びと共に、他の参加者との交流を図った。



セミナー参加者アンケート結果

研修1 (n=60)

5 大変満足	40%
4 満足	57%
3 どちらとも言えない	3%
2 不満	0%
1 大変不満	0%

研修2 (n=61)

5 大変満足	69%
4 満足	31%
3 どちらとも言えない	0%
2 不満	0%
1 大変不満	0%

市民活動団体にとって資金調達の強化は従来に増して必要になってきた。そのためには、団体のミッションに共感をしてもらい、活動への資金的（人的にも）参加を促す具体的取り組みが求められる。次年度以降も、同様のファンレイジングセミナーの開催などを通じて資金調達支援を行いたい。

③(公財)助成財団センター (JFC) 共催事業

●2013年7月18日

「助成財団とは何か・助成財団ではじめてお仕事をされる人のために」

「助成事業をどのように組み立てるか」

「助成事業におけるフォローアップ・モニタリングの意義と方法」

●2013年10月24日

「プロポーザル(企画書、申請書)をどう読むか」

「助成事業におけるフォローアップ・モニタリングの意義と方法」

「助成事業をどのように立ちあげるかー具体的事例を基に」

●2014年3月20日

「助成事業を運営するためにー助成事業とは何か、その運営留意点」

「プロポーザル(企画書、申請書)をどう読むか」

「助成事業をどのように立ちあげるかー具体的事例を基に」

●2014年3月21日

「民間助成金の獲得に向けて、何をなすべきか」

「良いプロポーザル企画書ーとは、そしてプロポーザルの質を上げるためには」

④市町運営支援事業

湖南省まちづくり講座

●2013年8月5日 「コミュニティプランの意味合いを考える」

講師：西川実佐子(しがNPOセンター事務局長)

●2013年8月12日 「コミュニティプランを評価する」

講師：奥野修(住みよい街&絆研究所代表)

●2013年8月19日 ワークショップ「課題を見つけよう」

講師：淡海ネットワークセンター

●2013年8月31日 「コミュニティプラン作成の実践①」

「コミュニティプラン作成の実践②」

講師：中川芳江(一般社団 Medical Studio シニア・プランナー)

3. 人材育成事業

(1) おうみ未来塾の運営

地域プロデューサー育成のための「おうみ未来塾」を開講し、第12期生2年目のグループ活動の運営を行った。

卒塾29名（入塾30名 退塾1名）。

●創造実践コース（2年次グループ活動）期間：2013年2月～2013年12月

・おうみのふるさと物語プロジェクト（野洲川流域）

○テーマ：地元で眠る物語をよみがえらせるプロジェクト

○活動内容：滋賀県（近江）の、人と川の歴史と文化に基づく物語を掘り起こし、「ふるさと物語」として編集し、語り部の会を開催した。この活動を通して、未来に伝え、地域愛を育み、地域の個性を反映し、地域愛を育み、未来につながるまちづくりを応援し、心豊かな社会を目指した。

○活動経過：週に一度必ずミーティングを開催し、安定的に活動を行った。中間報告会でアドバイザーからの指摘を受け、自身が滋賀県の民話・神話の専門性を持つために、メンバーで県内中の民話・神話を協力して収集。ホームページなどのWEBを立ち上げ、収集データのアーカイブに取り組んだ。今年は野洲川下流域で、現存する地域の語り部を発掘しながら、「語り部の会」を開催するなどして目的である「ふるさと物語」を未来へ引き継いでいく仕組みづくりに取り組んだ。



・鹿深 de ござれ！（甲賀市水口町）

○テーマ：日本人と外国人住民の方々が共に地域をふるさととして、楽しく暮らせるためのネットワークづくり

○活動内容：旧水口町における多文化共生の発展。外国人住民のネットワーク、および子育て支援に関する地域団体と連携し、子ども達やその親世代同士の交流をは

かり、互いに理解し合えるきっかけづくりを行った。具体的には、生活習慣・料理・文化・歴史・言語など、あらゆる切り口からワークショップやイベントを開催した。

○活動経過：甲賀市水口町を拠点に、旧住民と外国籍住民とのつながりづくりのための、コミュニケーションをテーマとしたワークショップを独自に開発し展開した。「からだ de コミュニケーション」「ごはん de コミュニケーション」「まつり de コミュニケーション」など月に一度のペースで様々なテーマでワークショップを重ねた。



・古^レ屋 （米原市柏原）

○テーマ：古民家活用サポーターズ

○活動内容：使われなくなった建物や古民家を地域の方々に利用価値のあるものへと再生し、失われつつあるご近所づきあいや、少子高齢化、安全面など多方面で末永く利用出来る、価値ある建物として活用する。

○活動経過：米原市をフィールドにするも、目的達成に必要な拠点となる活用できる古民家を探すことに中間報告会までは専念。米原市柏原で地域住民がつくる地域活性化懇話会の中でプレゼンテーションを行い、拠点である古民家を借りることに成功する。その後、地元のお祭り等に出展して地域との関係をつなぎながら古民家活用し地域活性化のための事業を展開してきた。また、米原市協働事業に採択され、米原市内の広報も利用しながら市内で知名度を広げていくことになった。



・ 8meets (はちみ〜つ) (近江八幡市北之庄)

○テーマ：人と人をつなぐ北之庄歳時記

○活動内容：近江八幡北之庄の地域資源を、地域の皆さんと共に見つめ直し、人と人、人と地域を『食と農』をキーワードにつなぐ。そして伝統野菜である「北之庄菜(きたのしょうな)」を通じ、いかに地域の魅力を外に発信できるかを考え、地域の食文化・豊かな自然環境と景観を継承できる仕組みをめざす。

○活動経過：メンバーのつながりで北之庄のフィールドに早い段階から入るも、地域とのコミュニケーション不足もあったことから、活動の趣旨が伝わらない面があった。しかし、中間報告会を経てアドバイザーのアドバイスを得て、まずは住民とのコミュニケーションツールとしての歳時記作成にとりかかる。その後、北之庄沢の会に入り沢掃除を重ねるなどコミュニケーションを深めていくことで、地域ブランド、北之庄菜を栽培する北之庄郷の会の準会員となり北之庄菜を知るために栽培にチャレンジし、北之庄の中にとけ込むことができた。



●全体塾生会

2013年6月9日(日) ピアザ301会議室 資料印刷&各グループ発表練習

●中間報告会

2013年6月9日(日) コラボしが21中会議室

●卒塾認定会議

2013年11月27日(水) 淡海ネットワークセンター

●成果発表会・卒塾式

2013年12月15日(日)

成果発表会・卒塾式

地域プロデューサーの集い

参加者：73名

内容：今回成果発表会・卒塾式の後に地域プロデューサーの集いを開催した。未来塾の卒塾生261名を対象に、塾生とその関係者を軸としたおうみ未来塾コミュニテ

ィを中心にし、招待という形を作り行った。参加者から、今取り組んでいることや相談したいことなどについての話題提供者を募り、1人3分程度で連続プレゼンテーションができる場を設け、その話題提供者を軸に、対話の時間を設けた。



(2) おうみ未来塾運営委員会開催 3回

- 2013年6月9日(日)
- 2013年12月15日(日)
- 2014年1月9日(木)

(3) おうみ未来塾13期生募集について

13期生募集説明会参加状況。 6カ所で28名参加。

実施日	場 所	全体	男	女
3月28日(金)	米原公民館	5	4	1
3月30日(日)	今津東CC	3	2	1
3月30日(日)	ピアザ淡海	6	5	1
4月4日(金)	守山市民交流センター	4	3	1
4月5日(土)	ピアザ淡海	5	3	2
4月5日(土)	あいこうかVC	5	1	4

※いずれも2014年

(4) 地域人材発掘育成事業調査

●地域人材アンケート調査

- ・「おうみ未来塾」の卒塾生を対象に、現在の活動状況等を調査。
- ・地域人材に共通する『地域との関わり方や人物像』について一定把握できた。

●対話を通じてつながる場『地域プロデューサーの集い』

- ・おうみ未来塾の卒塾生や滋賀県内で地域活動に取り組む人を対象に集いを実施。
- ・県内での地域活動例の把握とともにその課題が認識できた。

●地域人材育成プログラム関係者会議

- ・県内の地域人材育成事業（滋賀大学学び直し塾、滋賀県立大学近江環人、滋賀県社会福祉協議会レイカディア大学）の担当者会議を開催し、情報共有や意見交換を行うとともに、フォーラムの開催・内容について意見を求めた。
- ・今後の事業展開に相乗効果が生まれた。

●『今、求められる地域人材を考える』フォーラムの開催

開催日 2014年3月9日（日）

場所 県庁新館大会議室

対象は地域づくりに関心のある人

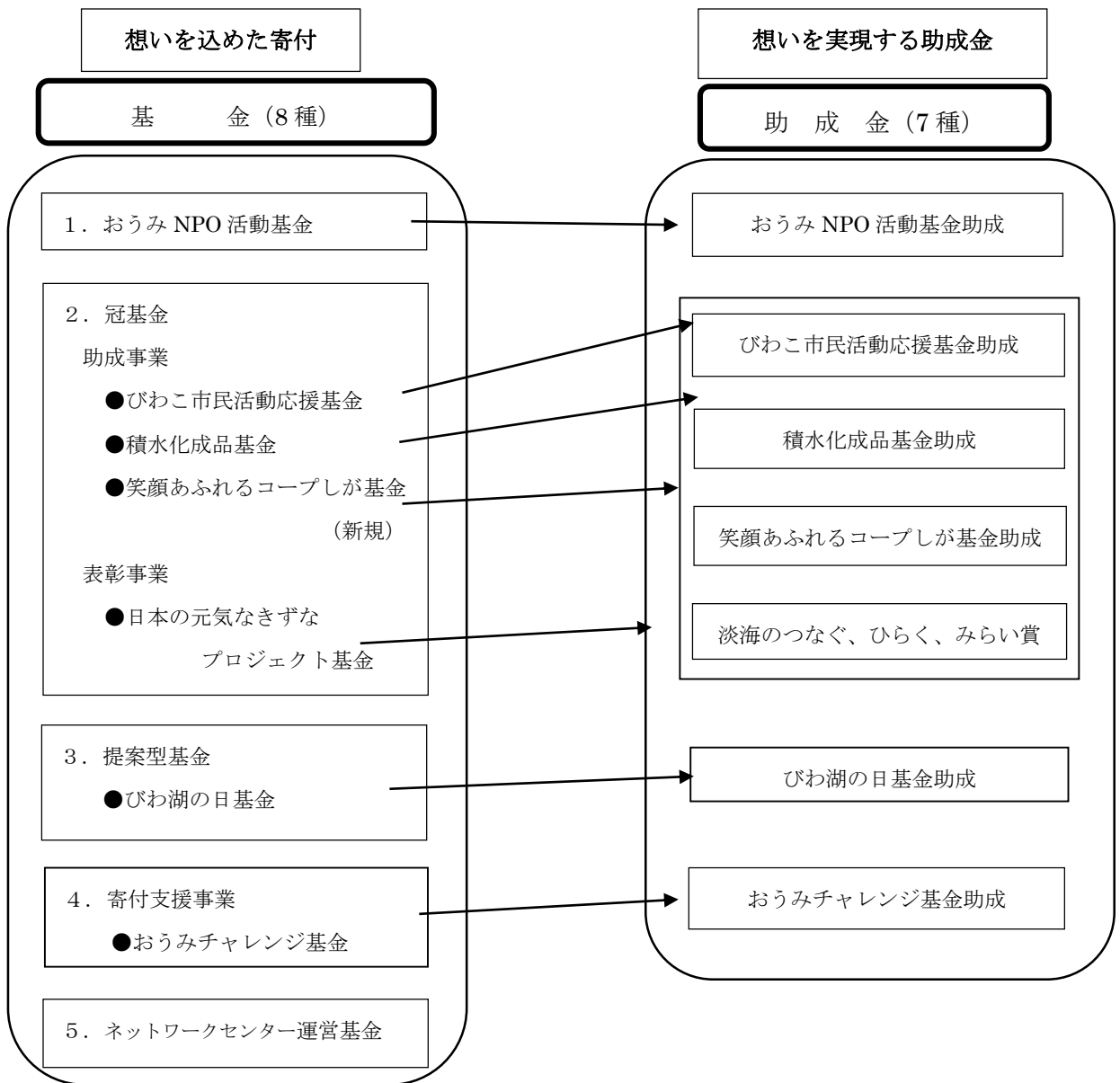
- ・第1部の基調講演ゲストに(株)日本総合研究所調査部主席員の藻谷浩介氏を迎え、人口減少社会に即した地域のあり方について講演いただいた
- ・第2部では今滋賀県内ではどのような地域人材が求められているのかをパネルディスカッション形式で議論し、今後の地域づくりに生かすことのできる成果が得られた。

・参加者 約201人



4. 未来ファンドおうみ

未来ファンドおうみは、多くの方々から地域への「思い」を寄付いただき公益性、社会性、継続性の高い市民活動を実施する団体へ助成する、新たにつくられた基金。



(1) 助成金・寄付金の受領

●寄付受領額計	2,363,269 円
	※小口寄付含まず
基金別・寄付者別内訳	
○おうみ NPO 活動基金 (2002 年県補助金により開設)	
オムロン株式会社草津事業所	168,769 円
○びわ湖の日基金 (2011 年 7 月 1 日開設)	
有限会社 豆藤	300,000 円
循環型社会創造研究所「えこら」	50,000 円
株式会社ベスト・ワン	2,000 円
○積水化成品基金 (2012 年 7 月 11 日開設)	
積水化成品工業株式会社	300,000 円
○笑顔あふれるコープしが基金 (2013 年 8 月 28 日開設)	
生活協同組合コープしが	1,000,000 円
○日本の元気なきずなプロジェクト基金 (2011 年 12 月 1 日開設)	
びわこ市民研究所	242,500 円
○おうみチャレンジ基金 (2013 年 4 月 1 日開設)	
個人 1 名 (匿名希望)	300,000 円



(2) 未来ファンドおうみ 2013 助成事業

NPO に対して資金助成を通じた自立支援を行う「おうみ NPO 活動基金」「びわこ市民活動応援基金」「びわ湖の日基金」「積水化成品基金」の4つの基金により、NPO の基盤整備や事業支援に向けた助成を行ったほか、表彰事業については、「日本の元気なきずなプロジェクト基金」により「淡海のつなぐ、ひらく、みらい」賞で5団体を表彰した。また、寄付支援事業では、おうみチャレンジ基金を開設し、寄付集め（ファンドレイジング）の支援を行った結果、採択団体である（特活）おうみ犯罪被害者支援センターに寄付支援 240,000 円を行った。また同センターは 2014 年 3 月、認定 NPO 法人を取得した。

●オリエンテーション

開催日：2013 年 4 月 13 日（土）

場 所：県民交流センター207 会議室(大津市)

内 容 採択 8 団体へ「未来ファンドおうみ助成事業の手引き」に基づき説明、質疑応答を行う。

●「淡海のつなぐ、ひらく、みらい」賞の発表

開催日：2013 年 4 月 13 日（土）

場 所：県民交流センター207 会議室(大津市)

発表団体（5 団体）

- ・特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワークセンター天気村
- ・特定非営利活動法人甲賀文化 輝き
- ・NPO 法人日吉台の福祉を語る会・あじさいくらぶ
- ・白鳥川の景観を良くする会
- ・山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

●中間報告会・相談会

開催日：2013 年 10 月 20 日（水）

場 所：コラボしが 21 中会議室(大津市)

内 容：中間までの進捗状況と共に、相談シートに事業課題と組織課題を記入しそれを基に発表を行う。委員と中川芳江（一般社団法人 Medical Studio）よりアドバイスを受ける。

報告団体（8 団体）

○おうみ NPO 活動基金採択団体（2 団体）

- ・ 特定非営利活動法人近江八幡市手をつなぐ会
- ・ 特定非営利活動法人マイママ・セラピー

○びわこ市民活動応援基金採択団体（2 団体）

- ・ どんこの会
- ・ 特定非営利活動法人びわ湖トラスト

○びわ湖の日基金採択団体（2 団体）

- ・ 鴨と蛍の里づくりグループ
- ・ 南滋賀の里山を守る会

○積水化成品基金採択団体（1 団体）

- ・ 特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会

○チャレンジ基金採択団体（1 団体）

- ・ 特定非営利活動法人おうみ犯罪被害者支援センター



（3）未来ファンドおうみ 2014 採択について

「おうみ NPO 活動基金」「びわこ市民活動応援基金」「びわ湖の日基金」「積水化成品基金」「笑顔あふれるコープしが基金」の 5 件の助成事業と「日本の元気なきずなプロジェクト基金」淡海のひらく、つなぐ、みらい賞の表彰事業、および寄付支援事業「おうみチャレンジ基金」の募集を行った。

①募集要項説明会

米原、近江八幡、草津、高島、大津、甲賀（2カ所）の6カ所で実施した。

米原会場：2013年12月8日（日） 2名（2団体）

近江八幡会場：2013年12月8日（日） 2名（2団体）

草津会場：2013年12月8日（日） 1名（1団体）

高島会場：2013年12月10日（火） 2名（2団体）

大津会場：2013年12月12日（木） 7名（5団体）

甲賀会場：2013年12月14日（土） 5名（4団体）

合計 19名（16団体）

②申請受付

・募集開始 2013年12月1日（日）

・募集締め切り 2014年1月19日（日）

・申請受付 29団体

③審査

1次審査（書類審査） 2014年2月9日（日）

2次審査（公開プレゼンテーション） 2014年3月2日（日）

助成総額 4,241,000円

基金別内訳、採択団体

○「おうみNPO活動基金」助成（採択3団体） 1,980,000円

・特定非営利活動法人リバティ・ウィメンズハウス・おりーぶ

・大津おやこ劇場

・NPO法人甲賀の環境・里山元気会

○「びわこ市民活動応援基金」助成（採択5団体） 1,263,000円

・虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会

・おきしま倶楽部

・コミュニティサロンらんぷ

・特定非営利活動法人ユウ・アンド・アイ

・NPO法人愛のまちエコ倶楽部

- 「びわ湖の日基金」助成（採択 2 団体） 498,000 円
 - ・南滋賀の里山を守る会
 - ・せせらぎの郷

- 「積水化成品基金」助成（採択 1 団体） 200,000 円
 - ・特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会

- 「笑顔あふれるコープしが基金」助成（採択 2 団体） 200,000 円
 - ・信楽うぐいす郷自然愛護の会
 - ・湖西いきいきネットワーク

- 「日本の元気なきずなプロジェクト基金」
 - 淡海のひらく、つなぐ、みらい賞（採択 2 団体） 100,000 円
 - ・NPO 法人 YASU ほほえみクラブ
 - ・特定非営利活動法人元気な仲間

(4) 未来ファンドおうみ助成事業 2012 成果発表会

「おうみ NPO 活動基金助成」と「びわこ市民活動応援基金助成」「びわ湖の日基金助成」により採択された団体が、事業終了につき、成果発表を行った。

開催日：2013 年 4 月 13 日（土）

場 所：県民交流センター207 会議室(大津市)

発表団体：10 団体

(5) 未来ファンドおうみ運営委員会

●第 1 回

開催日：2013 年 7 月 26 日（金）

場所：淡海ネットワークセンター

内容：笑顔あふれるコープしが基金・新しい助成事業について 他

●第 2 回

開催日：2013 年 10 月 20 日（日）

場所：コラボしが 21

内容：2014 年度助成事業について 他

5. 会議、活動

(1) 理事会、評議員会等の開催

日 時	区 分	主 な 内 容
4月1日	第6回評議員会 (書面表決)	・評議員、理事の選任について 評議員 西嶋→北川 理 事 山口→中井
5月15日	監事監査 監事2名出席	・2012年度決算監査の実施
5月22日	第8回理事会 理事9名中9人出席	・2012年事業報告 ・2012年度決算報告等 ・理事候補者名簿 ・評議員会の招集
6月19日	第7回評議員会 評議員8人中6人出席	・2012年度決算関係の承認 ・2012年度事業報告 ・理事の選任
	第9回理事会 理事9名中5人出席	・理事長の選定 ・常務理事の選定および事務局長の承認
11月27日	第10回理事会 理事9名中7人出席	・2013年度補正予算 ・職務執行状況報告
3月27日	第11回理事会 理事9名中6名出席	・2013年度補正予算 ・2014年度事業計画、収支予算書について ・職務執行状況の報告

(2) 主な活動記録

月	日	主 な 事 業 等	備 考
4月	1日 12日 14日	・新年スタート ・NPO ミニ講座開催 ・未来ファンドおうみ助成事業 2012 成果発表会開催	
5月	10日 15日 20日 22日 29日	・オムロン寄付贈呈式開催 NPO ミニ講座開催 ・監事監査実施 ・県大近江楽座審査会 ・理事会開催 ・ファンドレイジングセミナー出席（大阪）	
6月	9日 13日 14日 19日 23日 27日 28日	・おうみ未来塾 12 期生中間発表会 ・協働サロン開催（テーマ事業計画） ・NPO ミニ講座開催 ・評議員会開催 臨時理事会開催 ・守山市協働のまちづくり提案審査会出席（遠藤） ・びわ湖の日基金募金箱設置（琵琶湖競艇場 6.27～7.2） ・ボランティアセンター運営委員会出席	
7月	1日 9日 10日 11日 26日 31日	・新しい公共フォーラム三重に出席（村井、遠藤） ・横ネット連絡調整会議 ・フィランソロピー総会出席（歌代） ・県民活動生活課との意見交換会 ・未来ファンドおうみ運営委員会開催 ・しが“まなび” 発見！に出店参加（ピアザ淡海）	
8月	1日 6日 12日 19日 22日 23日 28日 30日	・フィランソロピー運営委員会出席（歌代） ・草津市まちづくり審査会出席（遠藤） ・湖南市まち協講座 ・湖南市まち協講座 ・日本 NPO センターCEO 会議出席（遠藤） ・活動計算書ミニ講座 ・コープしが寄付贈呈式 ・草津市まちづくり審査会出席（遠藤）	

	31日	・湖南省まち協講座	
9月	2日 12日 14日 20日 25日	・フィランソロピー運営委員会出席 ・県災害VC運営協議会 ・NPOミニ講座 ・活動計算書ミニ講座開催 ・消防訓練参加	
10月	2日 2日 2日 10日 16日 17日 20日 27日	・島根県雲南市視察（村井、澤）、 ・近江八幡市NPO補助金審査会出席 ・県災害VC運営協議会担当者会議 ・日本NPOセンター中堅研修参加（遠藤） ・フィランソロピー運営委員会参加（歌代） ・甲賀協働提案公開プレゼン参加（遠藤） ・未来ファンドおうみ2013中間報告・相談会 ・県総合防災訓練参加	
11月	9日 3日 3日 16日 16日 21日 26日 27日	・甲賀里山元気会イベント参加 ・積水化成品工業寄付贈呈式 ・草津こども会議出席 ・甲賀市市民協働提案審査会出席（遠藤） ・ならNPOフォーラム参加 ・ボランティアフェスティバル出張 ・長浜市市民活動団体支援事業審査会出席（澤） ・理事会開催	
12月	3日 4日 15日 18日	・草津こども環境会議委員会出席（歌代） ・おうみ未来塾卒塾認定会議 ・おうみ未来塾卒塾式 ・助成財団センター研修会参加	
1月	9日 12日 17日 19日 31日	・おうみ未来塾運営委員会開催 ・協働サロン（テーマ：人権）開催 ・地域人材担当者会議 ・ひとまちキラリ審査会参加 ・ファンドレイジング講座参加	

		<ul style="list-style-type: none"> ・フィランソロピーネットセミナー参加 	
2月	1日 6日 7日 9日 11日 15日 20日 20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドレージングフォーラム 2014 参加（遠藤、澤） ・会計講座開催（県庁） ・会計講座開催（米原） ・未来ファンドおうみ助成金一次審査会 ・文化で滋賀を元気に表彰式参加 ・ファンドレージングセミナー開催 ・地域円卓会議（横浜）出席 ・岡山市民センター視察 	
3月	2日 9日 12日 13日 15日 19日 21日 23日 26日 27日	<ul style="list-style-type: none"> ・未来ファンドおうみ公開プレゼン開催 ・地域人材フォーラム開催 ・山口共同募金会視察（村井、遠藤、澤） ・福岡共同募金会、ふくおかNPOセンター視察（〃） ・ひとまちキラリ審査会参加 ・滋賀県地域円卓会議参加（遠藤） ・助成財団センター研修出席（澤、遠藤） ・守山まちづくり提案成果発表会 ・長浜市市民協働推進会議出席（歌代） ・理事会開催 	